

# ユニオンファンド 月次レポート

第163号

追加型投信 / 内外 / 株式 分配金再投資専用ファンド

2022年6月6日作成

## MONTHLY TOPIC

### 相場予想の難しさ

もう5年ほど前のことになりますが、セミナーで「先生」と呼ばれて困ったことがあります。「どうか普通にさん付けで」とお願いしたのですが、なぜかはわかりませんが、それ以来どこへ行っても先生と呼ばれなくなり、助かっています。先生と呼んでくださったのは、自分よりこの分野の能力にたけ、知識も豊富なプロだから、とっていただいたからでしょう。

プロの投資家たちは、確かに一般の方々よりは投資のことを知っています。ただ、知っていると言っても、必要なことの10%程度ではないかと、大雑把なイメージですが思っています。一方、一般の方は5%か3%か1%か、といったところでしょうか。倍率にすればプロは2倍とか10倍は知っている計算になります。

#### 知らないこと、わからないことの方が多い

ただ、「知らないことはどれだけあるか」という観点で見ると、実は一般95~99%、プロ90%となります。それほど差ではありません。

つい数か月前、テレビで証券会社出身の株式評論家がこんなことを言っていました。「戻り限界と見て軟調になるか、それとも上値を再び追うか、非常に難しい局面だ。仮に下がると悲観論が広がるだろう。」これって誰にでも言えそうなコメントです。ほとんどジョークですが「下がる場合を除けば100%上がる」と言う人もいます。こうしたコメントはあやふやで頼りないですが、むしろ誠実で正直だと言うべきかもしれません。プロだってわからないことの方が多いのです。だからその予想を信じて投資判断を下すことは賢明とはとても思えません。

#### 相場の先読みは難しい

投資家は個々に見れば知らないことの方が多いとしても、皆がそれぞれの持つ情報を基に売買すれば、トータルでは膨大な情報が株価に反映されることとなります。いわば全体の総意としての株価が結果的に形成され、それなりに合理的な水準に収れんしていくと考えることもできるでしょう。ですから、わかっている者ばかりであっても、大勢の投資家がとる行動の結果は決して馬鹿にすべきものではありません。

短期の投資が特に難しいのは、投資家があまりにも大勢いるため、その総意が結局どちらに向かうかが事前にはまるで分らないためです。しかも、仮にそれが分かったとしても、そのとき他の少なからぬ投資家もやはり同じようにわかっていると思うべきであり、彼らは既にも買うなり売るなり行動した後かも知れません。このように、人に先んじようとしても、それで得られるプラスアルファの利益はさほど大きくないと思います。相場の短期的な方向を先読みすることは「労多くして益なし」なので、とてもお勧めできないわけです。(来月号に続きます)

久保田徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## UNION FUND REPORT

## ユニオンファンド運用状況

(2022年5月末現在)

## 基準価額

29,481円

## 純資産総額

98億86百万円

## 期間別騰落率(%)

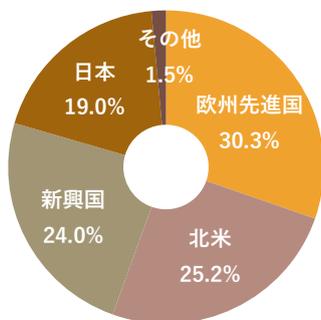
|     |         |
|-----|---------|
| 1ヶ月 | 0.81%   |
| 1年  | -4.07%  |
| 3年  | 31.60%  |
| 5年  | 24.70%  |
| 10年 | 152.60% |
| 設定来 | 194.81% |

## 複利年率(%)

8.26%

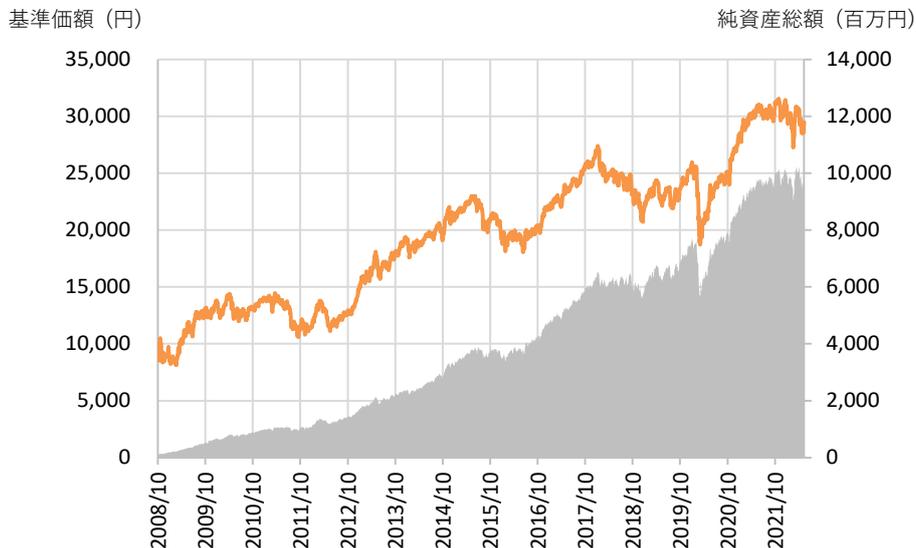
\*「複利年率」とは設定日から基準日までの騰落率を年率（複利）で表したものです。「複利年率」は過去の実績値であって、将来の成績を約束するものではなく、また受益者ごとの購入時期によって異なります。

## 地域別構成比



投資部分(現金等を除く)に占める比率  
(2022年4月末現在)

## 基準価額と純資産総額の推移



## 組入ファンドの内訳

| ファンド名          | 主な地域 | 組入比率(%) | 月間騰落率(%)※ |
|----------------|------|---------|-----------|
| さわかみF          | 日本   | 5.1%    | 4.5%      |
| スパークスF         | 日本   | 11.0%   | 3.9%      |
| キャピタルF         | 欧米   | 17.7%   | 0.3%      |
| ハリスF           | 欧米   | 19.6%   | 2.2%      |
| コムジェスト・ヨーロッパF  | 欧州   | 10.5%   | -0.8%     |
| コムジェスト・エマージングF | 新興国  | 20.0%   | -0.7%     |
| 現金等            | -    | 16.0%   | -         |

※ 騰落率はユニオンファンドの基準価額に反映する日付で計算

## ファンドの特長

- ① 長期で「債券」の収益率を上回るとされる「株式」に投資します
- ② 世界の経済成長を享受するため、「グローバル」な視点で投資します
- ③ 専門性の高い複数ファンドに投資する「ファンド・オブ・ファンズ」で運用します
- ④ 実績のある資産運用会社の「アクティブ」ファンドに投資します
- ⑤ 株価が割高と思われるときには現金比率を高め、割安局面での買い増しに備えます

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## UNION FUND REPORT

## 2022年5月の市場動向と運用状況

## 投資環境

5月の世界の株式市場は、4月の下落を引きずって前半は軟調でしたが、下旬になると反発に転じました。前半の下落は、インフレと米国連銀（連邦準備制度理事会）による金融引き締めが引き続き懸念されたためです。インフレが続いて利上げなどの引き締め策がさらに強化され、結局は景気後退に陥りかねないとの警戒感が非常に高まりました。米国では物価高が家計の重荷となっており、企業業績にも先行き不透明が広がりました。大手小売企業の中には、原材料や賃金などのコスト上昇による業績不安から、株価が一時大幅に下落するものもありました。ただ、後半は景気減速とインフレ率の頭打ち期待から長期金利が反落し、利上げの先行き予想も穏やかになったことが好感されました。一方、インフレは欧州でも一段と強まっており、欧州中央銀行は利上げを視野に入れ始めました。中国では上海などでコロナ対策の都市封鎖が続き、生産や消費に関する経済指標は軒並み大幅な悪化を示しました。

為替市場では、上旬に1ドル130円に乗せるなど、ドル高円安がさらに進みました。ただ、米国金利が頭打ちとなってきた一方で欧州では利上げ観測が広がったことから、月末にかけてドルはやや押し戻されました。

## 運用の状況

ユニオンファンドの基準価額は、前半若干下がったものの後半回復し、結局小幅な値上がりとなりました。日本株の堅調がプラスに寄与しましたが、ハリスを除く欧米ファンドと新興国ファンドは横ばいにとどまりました。

日本株と欧州株に投資するファンド2本の買い増しを行いました。月末時点の組入比率は84.0%と、前月末から若干上昇しました。

## 今後の見通し

米国連銀はすでに2回の利上げを行いました。保有資産の削減を6月に開始する予定であり、間もなくおカネの量の面でも引き締めがかなりのハイピッチで進められることになりそうです。米国経済は雇用が極めて堅調であり、足腰の強さが感じられますが、他方で、金利上昇を一因として住宅市場が大きく悪化したことは新たな懸念材料と見えています。さらに、財務面で見劣りする企業が発行する高利回り債は、国債以上に一時大きく売られました。投資家が信用リスクを警戒し始めたことを示唆しており、その推移には今後一層注意していくつもりです。

先月のこの欄で、投資家の心理が弱気に傾いており、それは今後のプラス要因でもあると述べましたが、先月末からの株価反発はこうした心理の揺り戻しによるところが大きいのと思われます。必ずしも実態が好転したことを評価したものではなく、反発の持続性にはまだ懐疑的です。本格的な株価上昇のためには、やはりインフレの沈静化と景気減速を背景に、少なくとも金融引き締めの停止が明確に見込めることが必要と今のところ考えています。

このように、投資環境の好転がはっきり見通せるには至っていませんが、年初からの株価下落で投資妙味がある程度回復したことも確かです。このため、下落率が大きかった欧米株に投資するファンドの目標比率を若干ずつ引き上げ、5月に引き続き慎重に買い増しのチャンスをさぐっていきたくと考えています。

運用責任者 久保田徹郎

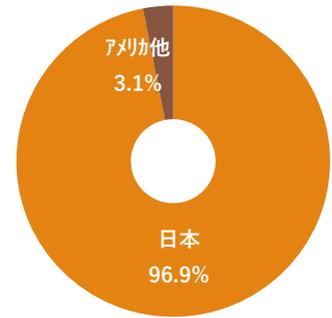
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

# さわかみファンド

基準価額の推移



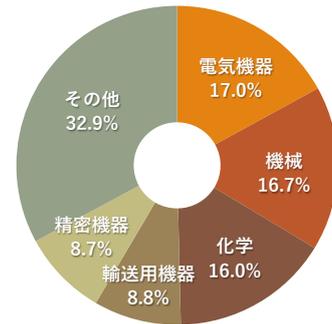
国別構成比



組入銘柄トップ10

| 組入銘柄等     | 比率    | 国籍 | 業種       | 業務内容等         |
|-----------|-------|----|----------|---------------|
| 1 ダイキン工業  | 4.3%  | 日本 | 機械       | エアコン世界首位      |
| 2 プリヂストン  | 4.2%  | 日本 | ゴム製品     | タイヤ世界大手       |
| 3 信越化学工業  | 4.1%  | 日本 | 化学       | 塩ビ・シリコンエー世界大手 |
| 4 日本電産    | 4.0%  | 日本 | 電気機器     | 精密モーター世界首位    |
| 5 浜松ホトニクス | 3.7%  | 日本 | 電気機器     | 光検出器の世界的企業    |
| 6 テルモ     | 3.6%  | 日本 | 精密機器     | 医療機器 (カテーテル)  |
| 7 トヨタ自動車  | 3.3%  | 日本 | 輸送用機器    | 自動車世界大手       |
| 8 INPEX   | 2.9%  | 日本 | 鉱業       | 石油・天然ガス開発     |
| 9 デンソー    | 2.5%  | 日本 | 輸送用機器    | 世界的自動車部品メーカー  |
| 10 TOTO   | 2.4%  | 日本 | ガラス・土石製品 | 衛生陶器国内首位      |
| 上位10銘柄    | 34.7% |    | 現金等      | 11.1%         |

業種別構成比



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2022年5月末現在>

# スパークスF (スパークス・集中投資・日本株ファンドS)

基準価額の推移



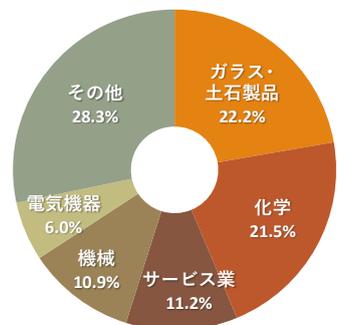
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド) ※組入比率の記載はなし。証券コード順。

| 組入銘柄等            | 比率 | 国籍 | 業種       | 業務内容等          |
|------------------|----|----|----------|----------------|
| 太陽HD             |    | 日本 | 化学       | プリント配線板用レジスト材等 |
| クミアイ化学工業         |    | 日本 | 化学       | 国内農業大手         |
| TOTO             |    | 日本 | ガラス・土石製品 | 衛生陶器国内首位       |
| MARUWA           |    | 日本 | ガラス・土石製品 | セラミック基板世界トップ   |
| 竹内製作所            |    | 日本 | 機械       | 小型建設機械         |
| マックス             |    | 日本 | 機械       | 鉄筋結束機、スケーラー    |
| 全国保証             |    | 日本 | その他金融業   | 独立系の住宅ローン保証会社  |
| ダイレクトマーケティングミックス |    | 日本 | サービス業    | 営業・マーケティング代行等  |
| パイロットコーポレーション    |    | 日本 | その他製品    | 総合筆記具メーカー      |
| トーセイ             |    | 日本 | 不動産業     | 不動産流動化・開発・賃貸等  |
| 現金等              |    |    |          | 6.3%           |

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2022年4月末現在>

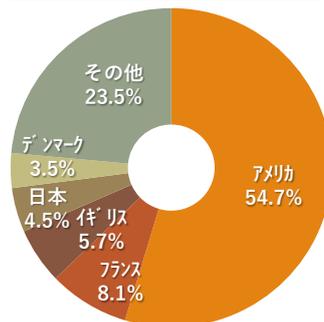
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目録見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

# キャピタルF (キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)クラスZ)

基準価額の推移



国別構成比



組入銘柄トップ10

| 組入銘柄等          | 比率    | 国籍    | 業種    | 業務内容等            |
|----------------|-------|-------|-------|------------------|
| 1 Broadcom     | 2.1%  | アメリカ  | 情報技術  | 無線・通信向け半導体等      |
| 2 Microsoft    | 2.1%  | アメリカ  | 情報技術  | 世界最大のコンピューター・ソフト |
| 3 UnitedHealth | 1.9%  | アメリカ  | ヘルスケア | 医療保険、ヘルスケアサービス   |
| 4 Novo Nordisk | 1.9%  | デンマーク | ヘルスケア | 糖尿病薬等世界首位        |
| 5 Apple        | 1.9%  | アメリカ  | 情報技術  | デジタル機器・ソフト大手     |
| 6 ASML         | 1.8%  | オランダ  | 情報技術  | 半導体製造装置メーカー      |
| 7 AstraZeneca  | 1.8%  | イギリス  | ヘルスケア | 薬品会社             |
| 8 TSMC         | 1.7%  | 台湾    | 情報技術  | 半導体メーカー          |
| 9 Visa         | 1.4%  | アメリカ  | 情報技術  | 世界有数のクレジットカード    |
| 10 AIA         | 1.4%  | 香港    | 金融    | 生保・金融サービス        |
| 上位10銘柄         | 18.0% | 現金等   | 6.6%  |                  |

業種別構成比



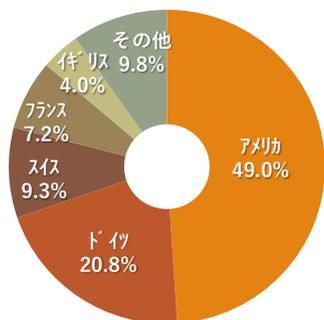
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2022年4月末現在>

# ハリスF (ALAMCOハリス グローバルバリュー株ファンド2007)

基準価額 (分配金込み) の推移



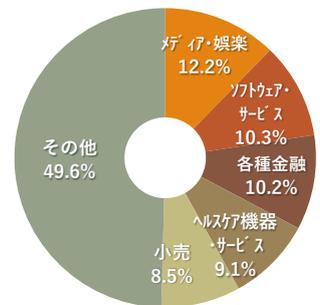
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

| 組入銘柄等                     | 比率    | 国籍   | 業種          | 業務内容等          |
|---------------------------|-------|------|-------------|----------------|
| 1 ALPHABET                | 5.9%  | アメリカ | メディア・娯楽     | グーグルの持株会社      |
| 2 FISERV                  | 4.1%  | アメリカ | ソフトウェア・サービス | 金融機関向け情報処理サービス |
| 3 BAYER                   | 3.8%  | ドイツ  | 医薬品・バイオ     | 大手化学医薬品メーカー    |
| 4 BNP PARIBAS             | 3.8%  | フランス | 銀行          | フランス大手銀行       |
| 5 ALLIANZ                 | 3.4%  | ドイツ  | 保険          | 総合保険大手         |
| 6 KEURIG DR PEPPER        | 3.4%  | アメリカ | 食品・飲料・タバコ   | 清涼飲料メーカー       |
| 7 AMAZON.COM              | 3.4%  | アメリカ | 小売          | ECサイト、ウェブサービス  |
| 8 MERCEDES-BENZ           | 3.3%  | ドイツ  | 自動車・自動車部品   | 自動車世界大手        |
| 9 BERKSHIRE HATHAWAY      | 3.2%  | アメリカ | 各種金融        | 保険事業を主軸とする持株会社 |
| 10 CHARTER COMMUNICATIONS | 3.0%  | アメリカ | メディア・娯楽     | ケーブルテレビ、携帯電話   |
| 上位10銘柄                    | 37.1% | 現金等  | 3.3%        |                |

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の24産業グループ、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2022年4月末現在>

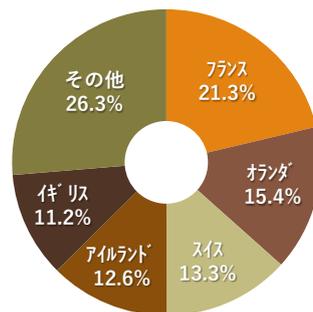
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

# コムジェスト・ヨーロッパF (コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90)

基準価額の推移



国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

| 組入銘柄等              | 比率           | 国籍         | 業種          | 業務内容等             |
|--------------------|--------------|------------|-------------|-------------------|
| 1 ASML             | 7.2%         | オランダ       | 情報技術        | 半導体製造装置メーカー       |
| 2 NOVO NORDISK     | 7.1%         | デンマーク      | ヘルスケア       | 糖尿病薬等世界首位         |
| 3 LINDE            | 5.1%         | イギリス       | 素材          | 産業ガス世界大手          |
| 4 LVMH             | 4.3%         | フランス       | 一般消費財・サービス  | ファッション等高級ブランド世界大手 |
| 5 ACCENTURE        | 4.1%         | アイルランド     | 情報技術        | 総合コンサルティング会社      |
| 6 ESSILORLUXOTTICA | 3.8%         | フランス       | 一般消費財・サービス  | 光学製品              |
| 7 ALCON            | 3.5%         | スイス        | ヘルスケア       | 眼科医療機器・薬剤         |
| 8 ICON             | 3.3%         | アイルランド     | ヘルスケア       | 医薬品開発受託           |
| 9 EXPERIAN         | 3.3%         | イギリス       | 資本財・サービス    | データベース・分析ツールの提供   |
| 10 STRAUMANN HD    | 2.9%         | スイス        | ヘルスケア       | 歯科インプラントメーカー      |
| <b>上位10銘柄</b>      | <b>44.5%</b> | <b>現金等</b> | <b>3.2%</b> |                   |

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2022年5月末現在>

# コムジェスト・エマージングF (コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド95)

基準価額の推移



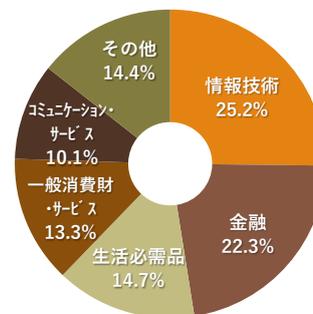
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

| 組入銘柄等                      | 比率           | 国籍         | 業種          | 業務内容等           |
|----------------------------|--------------|------------|-------------|-----------------|
| 1 TSMC ADR                 | 6.8%         | 台湾         | 情報技術        | 半導体メーカー         |
| 2 SAMSUNG ELECTRONICS      | 5.2%         | 韓国         | 情報技術        | 家電・電子部品大手       |
| 3 HOUSING DEVELOP. FINANCE | 4.8%         | インド        | 金融          | インド最大手の住宅開発金融会社 |
| 4 FOMENTO ECONOMICO        | 4.4%         | メキシコ       | 生活必需品       | 飲料、コンビニチェーン     |
| 5 INNER MONGOLIA YILI      | 4.3%         | 中国         | 生活必需品       | 乳製品国内大手         |
| 6 COGNIZANT TECHNOLOGY     | 4.2%         | アメリカ       | 情報技術        | インドに受託拠点を置くIT会社 |
| 7 SANLAM                   | 4.0%         | 南アフリカ      | 金融          | アフリカの保険大手       |
| 8 BB SEGURIDADE            | 3.8%         | ブラジル       | 金融          | 保険大手            |
| 9 LOCALIZA RENT A CAR      | 3.7%         | ブラジル       | 資本財・サービス    | レンタカー会社         |
| 10 AIA                     | 3.6%         | 香港         | 金融          | 生保・金融サービス       |
| <b>上位10銘柄</b>              | <b>44.7%</b> | <b>現金等</b> | <b>8.8%</b> |                 |

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2022年5月末現在>

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## NOTICE

## 業務管理部からのお知らせ

## ご登録情報・ご契約内容の変更手続きについて

弊社へご登録いただいているご住所、お名前等の登録情報、毎月積み立て「定期定額購入サービス」の購入金額や引落金融機関口座等の契約内容の変更につきましては、書面によりお届けいただいております。

各届出用紙につきましては、**弊社業務管理部（TEL：0263-38-0725）へのお電話** または **弊社ホームページの「お取引について」** よりご請求ください。

## 《弊社ホームページからの変更用紙請求手順》

「お取引について」>「登録情報変更用紙請求」ページ  
[https://www.unionam.co.jp/account/regipii\\_input/](https://www.unionam.co.jp/account/regipii_input/)

- ① [入力フォーム]お客様の情報 をご入力（お客様コードについては下記をご確認ください）
- ② [入力フォーム]登録情報変更用紙の請求 にて必要書類の部数・用紙送付先情報をご入力
- ③ 「入力内容の確認画面へ」> 内容ご確認の上「送信」ボタン

※「お客様コード（口座番号）」は、口座開設時にお送りいたしました「総合取引口座【新規】お客さま控え」にてご確認ください。また、お取引の都度お送りいたします「取引報告書」（圧着ハガキ）のお開きいただいた左上にも「口座番号」として「お客様コード」を記載しておりますので、こちらでもご確認ください。

※ 定期定額購入サービスは購入スケジュールに沿ってのお手続きとなりますので、お申込みの時期によってはご契約内容が反映されるまでにお時間がかかる場合がございます。何卒ご了承ください。

※ 上記以外の登録情報などに関すること（特定口座、マイナンバー、お届け印など）でお困りのことがございましたら、お電話または弊社HPより弊社業務管理部までお問い合わせください。

## 目論見書の改訂について

2022年6月30日にユニオンファンドの目論見書を改訂いたします。

- ◎ 同日以降、新たな交付目論見書、請求目論見書を弊社ホームページへ掲載いたします。
- ◎ 今回の目論見書改訂において重要な事項に変更はありません。
- ◎ 「目論見書不交付の同意」をされているお客様への新たな交付目論見書の交付は省略させていただきます（交付をご希望の場合は、弊社業務管理部（TEL：0263-38-0725）までお申し出ください。）。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## RISK AND FEE

## ユニオンファンドのリスク・手数料

### 『ユニオンファンド』のリスク

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。－

ユニオンファンドは、主に国内外の株式などに投資する投資信託証券等に投資するファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。組入れる投資信託証券等は、株価変動、金利変動や債券発行者の経営・財務状況の変化等で値動きします。また、為替相場の影響を受ける投資信託証券等もあるため、ファンドの基準価額も変動し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの主なリスクは、「価格変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」です。

### 『ユニオンファンド』の手数料等

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。－

**申 込 手 数 料** お申込みにあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。  
※スポット購入時の購入用口座への振込手数料はお客様負担となります。

**換 金 手 数 料** ご換金（解約）にあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。

**信 託 財 産 留 保 額** ありません。

**信 託 報 酬** 純資産総額に年 0.88%（税抜 年 0.8%）の率を乗じた額です。  
毎日、信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます。  
[\*実質的な信託報酬（概算）：純資産総額に対して年 1.8% ± 0.3%（税込）]  
\*実質的な信託報酬の率は、『ユニオンファンド』が投資対象とする投資信託証券にかかる信託報酬を含めたものです。あくまでも目安であり、組入状況により変動します。  
※ 信託報酬にかかる税金は、税法等が変更・改正された場合、変更になることがあります。

**そ の 他 の 費 用** 上記のほか、次の手数料・費用等が信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます。

- ① 組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料（消費税等相当額の費用を含みます。）
- ② 信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立て替えた立替金の利息、監査法人から監査を受けるための費用（監査費用）（消費税等相当額を含みます。）

※ 監査費用は弊社が一部または全部を負担することがあります。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。